

議題 1

第 2 次健康くまもと 2 1 基本計画 の進捗管理について

(別冊) 進捗管理表……………資料 1-2

※カラーリーフレット第2次健康くまもと21基本計画概要版をご参照ください

「第2次健康くまもと21基本計画」

本計画では、健康増進法に基づく「市町村の健康増進計画」として、市の総合計画との調和を図り、市民の健康づくり施策の目標や方向性等について定めております。

○期間

平成25年度から34年度 10年間（平成30年度に中間評価）

○めざすもの(理念)

「全ての市民が生涯を通して、住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちを市民と協働でつくる」

○基本目標

「健康意識の醸成」「健康分野における地域コミュニティづくり」「健康寿命の延伸」

○基本目標の指標

健やかに生き生きと暮らしていると感じる市民の割合

基準値 58.9% (H24) → 目標値 65% (H30)

自ら健康づくりに取り組んでいる割合

基準値 68.9% (H24) → 目標値 75% (H30)

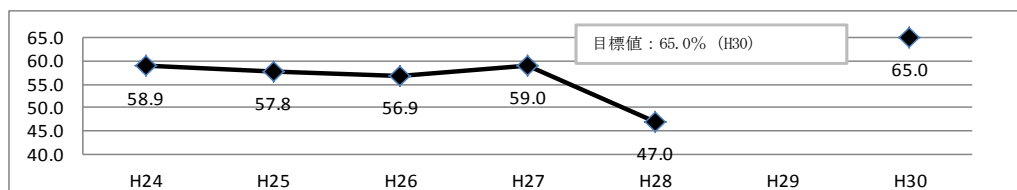
○基本的な方向と取り組み項目

- (1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
- (2) 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- (3) 健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり
- (4) 健康を支え守るための社会環境の整備

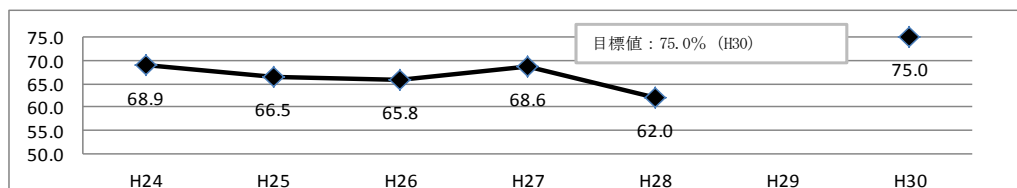
この計画推進のため「健康くまもと21推進会議」「庁内推進会議」等により計画の進捗状況を報告するとともに、各機関、団体、行政が取り組み等の情報共有を図り計画を推進いたします。

基本目標 健康意識の醸成 健康分野における地域コミュニティづくり 健康寿命の延伸

1. 健やかにいきいきと暮らしていると感じる市民の割合



2. 自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表

<生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底>

① がん (P1~4)

【関係機関・団体】

- ・ 集団健診で肺がん健診のスタッフを増員した【市医師会】
- ・ 県歯科医師会が医科と連携している「熊本県がん患者医科歯科連携事業」に対する協力を強化した【市歯科医師会】
- ・ がん検診のリーフレットを熊本市 P T A 研究大会で配布し、市内の小中学校に配付した。P T A 各種の会議等で、休日乳がん検診のお知らせチラシを配付し啓発を行った【P T A 協議会】
- ・ 「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」に基づく取り組みを行った【熊本産業保健総合支援センター・労働基準監督署】

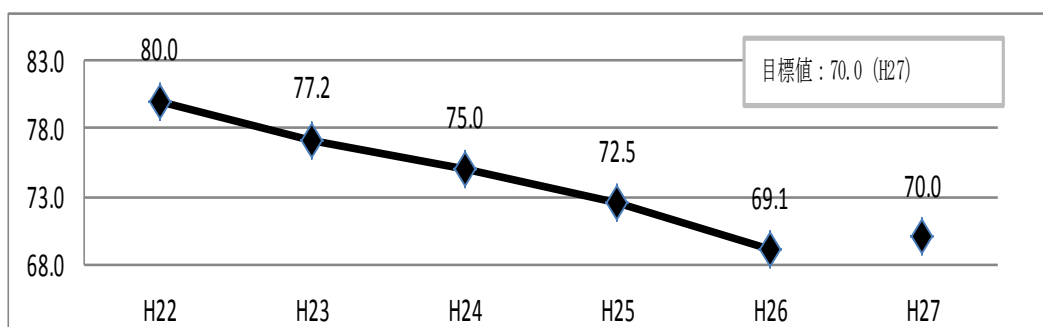
【行政】

- ・ 満 40 歳になる市民全員にがん検診勧奨はがきの送付。特定年齢を対象に肺がん検診の受診勧奨ちらしを個別送付。乳がん・子宮頸がん無料クーポン券を送付。協会けんぽと連携し、協会けんぽ扶養者への特定受診券送付時に、熊本市がん検診の案内を同封した。がん対策企業等連携協定の推進。【健康づくり推進課】

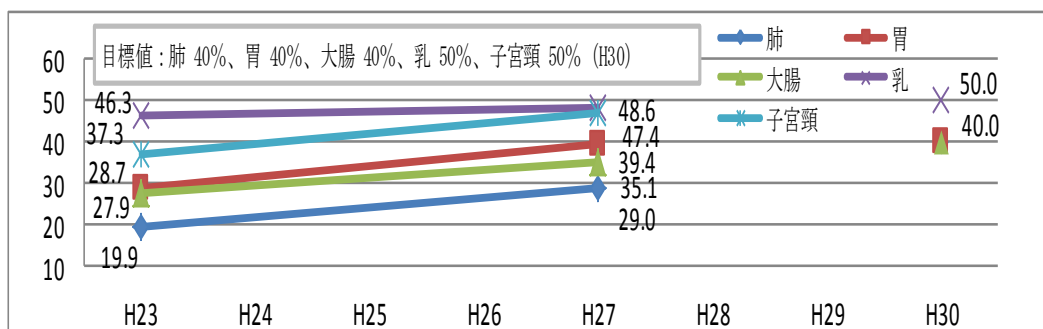
<平成 29 年度の新たな取り組み>

熊本市がん健診受診率向上計画の推進【健康づくり推進課】

1. 75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)



2. がん検診受診率の向上 (市が実施するがん検診の他、職場検診、人間ドック等を含む)



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底>

② 循環器疾患 (P5~7)

【関係機関・団体】

- ・ メタボ改善・健康維持増進を目的に「hara 凹ナビ」という無料の健康支援サイトを実施し、専門職種からのサポート内容としている。平成 27 年度から「歩数でマップ」を追加して、歩いた歩数をポイントにしてランキングに反映させている。【日赤健康管理センター】

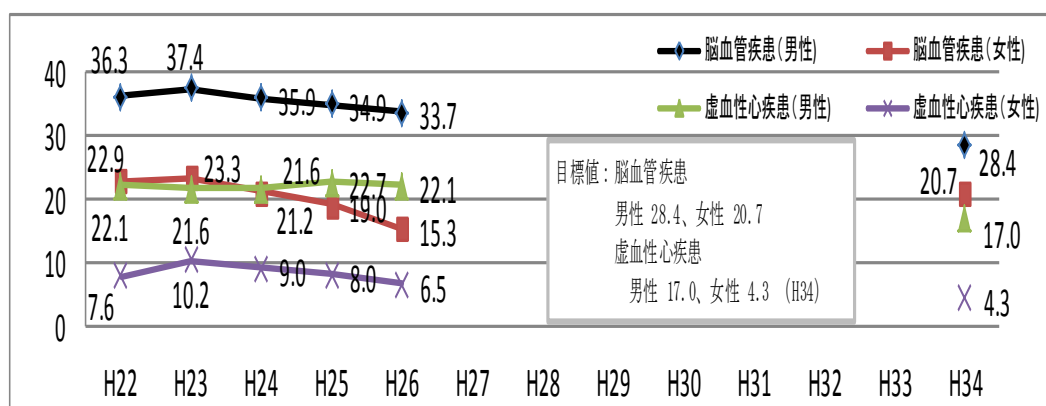
【行政】

- ・ 特定健診受診率向上及び保健指導利用率向上のため、国保加入者に対し、電話・ハガキによる受診勧奨。通院中の者へ医療機関から受診勧奨ができるように、協会けんぽと合同でリーフレットを作成【国保年金課】
- ・ 区役所単位で医療機関と地域、区役所等との連携強化を図るため生活習慣病対策ネットワーク連絡会を開催【健康づくり推進課】

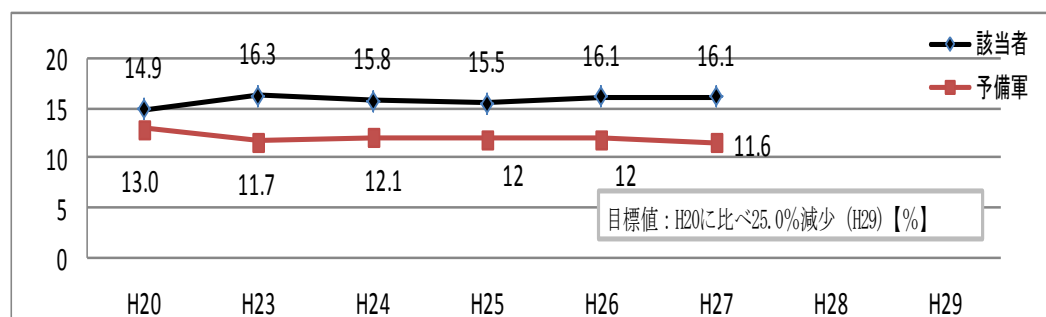
<平成 29 年度の新たな取り組み>

- ・ 地域サロンなどでの講話や保健師さんと地域イベントなどにより予防に取り組み、PR している。校区のまちづくり委員会等で集団健診の受診勧奨の啓発をしている【地域包括支援センター連絡協議会・北区健康まちづくりを推進する団体等】
- ・ 医療保険者等との連携。【県栄養士会】

3. 脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)



6. メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底>

③ 糖尿病 (P8~11)

【関係機関・団体】

- ・ 校区の健康まちづくり部会主催の医療講演会や講師医師の協力を得て区役所スタッフによる簡易血糖チェックを行い参加者自身の血糖値を知ることで生活習慣病の関心を高めた。【西区健康まちづくりを推進する団体等】
- ・ 熊本県歯科医師会が行う糖尿病歯周病連携事業への協力を図り、重度の歯周病患者への糖尿病検査の励行を行う。【市歯科医師会】

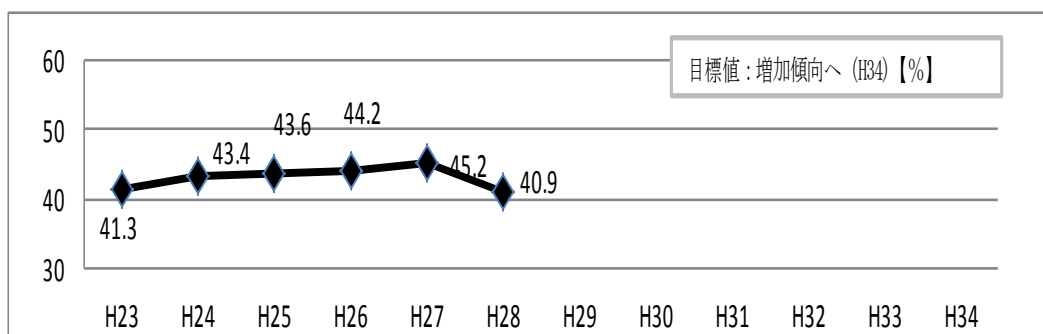
【行政】

- ・ 高齢者健康サロン支援、糖尿病予防教室、校区単位の健康まちづくり等の取り組みを通して、糖尿病やその予防等に関する情報提供を実施した【各区保健子ども課】
- ・ 糖尿病の要治療者に対して保健師や栄養士による受診勧奨を実施【国保年金課】

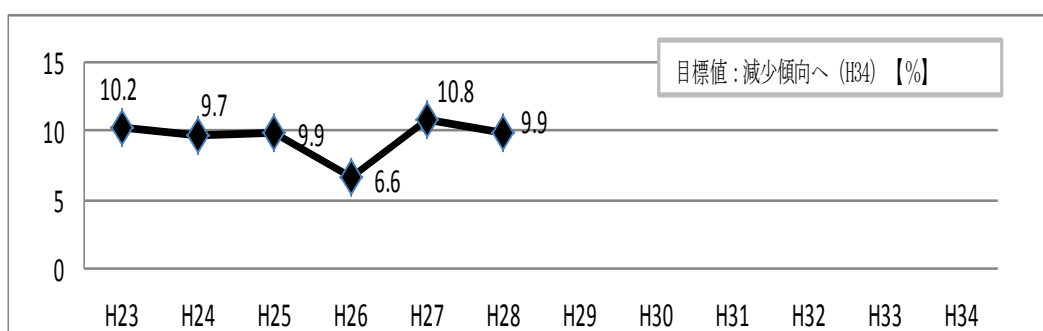
<平成 29 年度の新たな取り組み>

- ・ 糖尿病性腎症対策を実施(熊本市在住の被保険者)また治療中断者への再開勧奨を実施した【協会けんぽ】
- ・ 重症化予防のため栄養士のいないクリニックへの栄養士派遣等を実施。【県栄養士会】
- ・ 「けんつく会(健康をつくるボランティア医師の会)」との共催で、各校区での健康づくりイベント及び協力医療機関において簡易血糖検査を実施し、測定した検査結果をもとに受診勧奨及び保健・栄養指導を行なう。また、保健・栄養指導参加者が生活習慣改善目標を設定し、健康づくりに取り組めるよう支援するとともに参加者のデータを評価・活用し、効果的な意識啓発を実施する【中央区保健子ども課】

8. 治療継続者の割合の増加



10. 糖尿病有病者の増加の抑制



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底>

④ CKD（慢性腎臓病）（P12～14）

【関係機関・団体】

- ・ 地域のサロンで講話。保健師さんと地域イベントでPR。【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・ 地域・職域・健康保険組合・共済組合からの依頼を受け、対象者に保健師・管理栄養士・運動指導士が、健康教室・セミナーに携わっている。医療保険者主催のセミナーにおいてCKDの病態やその予防法、及びメタボリックシンドロームとの関連について講演を行った。【日赤健康管理センター】
- ・ 事業場の産業保健スタッフ等を対象に、CKDの危険因子である糖尿病や高血圧等に関する研修会を実施【熊本産業保健総合支援センター】
- ・ 加入者本人に対し、生活習慣病予防健診（大腸・胃・肺・乳・子宮頸を含む）、被扶養者に対し特定健診を実施。【協会けんぽ】

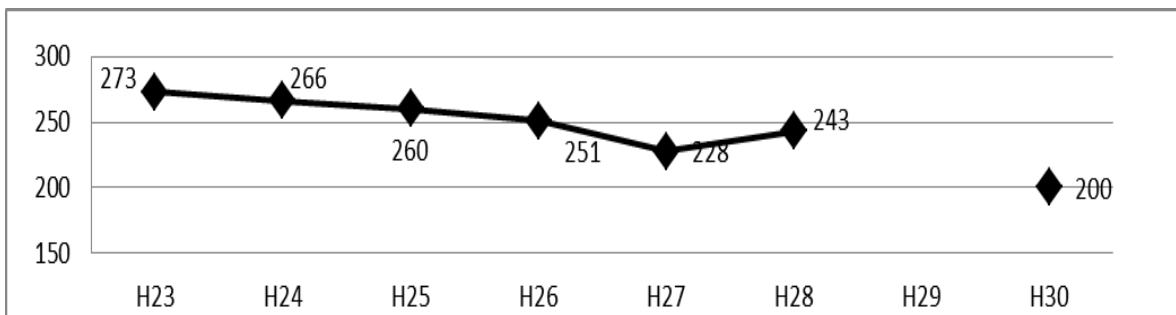
【行政】

- ・ CKDの予防や早期発見のための予防等に関する情報提供を実施。特定健診の結果でCKD予備軍の方を対象としたCKD予防健康相談を実施。減塩食実践講座、糖尿病予防教室を実施し、集団健診の機会にCKDの予防に関する情報提供や特定健診の受診を啓発。【各区保健子ども課】
- ・ CKDの未治療者に対して、保健師や管理栄養士による受診勧奨を実施（文書・電話・家庭訪問等）【国保年金課】
- ・ CKD対策推進会議、かかりつけ医と専門医との連携を図るためのプロジェクト会議などにより病診連携システムを実施【健康づくり推進課】

<平成 29 年度の新たな取り組み>

- ・ 医専連との連携を図りCKDの予防のための栄養指導の実施し、糖尿病からのCKDへの移行を減らすため、栄養士のいないクリニックからの派遣要望に応じていく。【県栄養士会】

11. 新規人工透析者数の減少



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上>

① こころの健康 (P15~16)

【関係機関・団体】

- ・ 労働者の心の健康の保持増進のための指針により事業場を指導している。また、H27年12月から50人以上の事業場に義務化された「ストレスチェック」について周知等の広報を実施した。【労働基準監督署】
- ・ 事業場の産業保健スタッフ等を対象に、職場における自殺の予防と対応の研修会を実施した。【熊本産業保健総合支援センター】

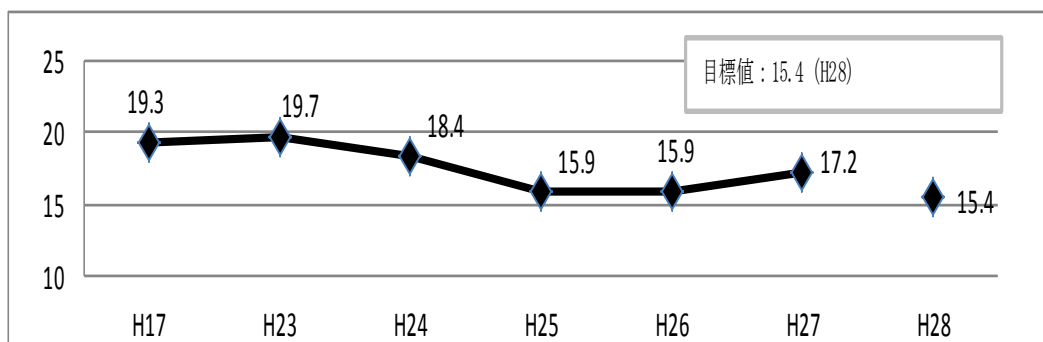
【行政】

- ・ 幼児健診等の子どものこころのアンケートを実施し、子どものこころのケアについて個別相談を実施。子どものこころのケアを含む震災リーフレット3種を作成し、幼児健診や赤ちゃん訪問、育児サークル等で配布し啓発した。【各区保健子ども課】
- ・ 自殺予防週間等を活用し、精神科医師・弁護士等による包括相談会や、九州・沖縄・山口一斉電話相談を実施した。災害時のこころのケア研修会、ゲートキーパー養成研修、自死遺族グループミーティングを実施した。【こころの健康センター】

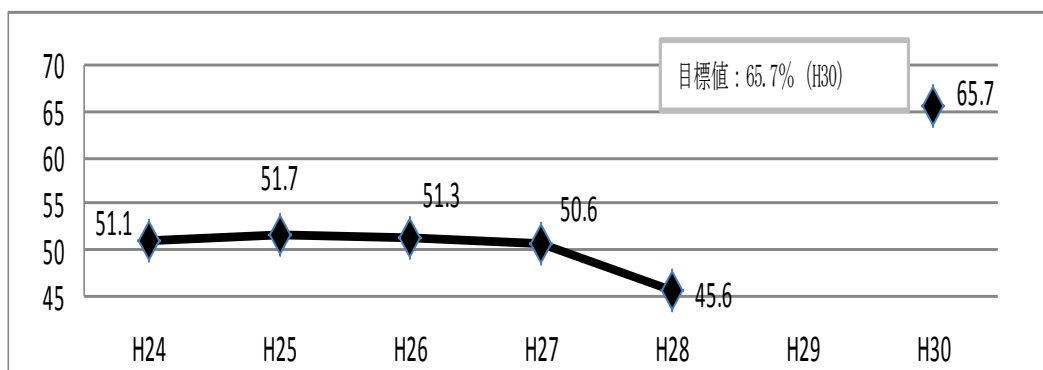
<平成 29 年度の新たな取り組み>

- ・ 自死遺族支援を考える講演会を開催する【こころの健康センター】

12. 自殺者の減少 (人口10万人当たり)



14. ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の割合



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上>

② 次世代の健康 (P17~19)

【関係機関・団体】

- ・ 熊本市の各小中学校単位 P T A における研修会の実施に助成する単 P 研修会助成金制度の展開。熊本市 P T A 研究大会 (H28/11/19) において、健康教育の取り組みについての講演会を実施【PTA 協議会】

【行政】

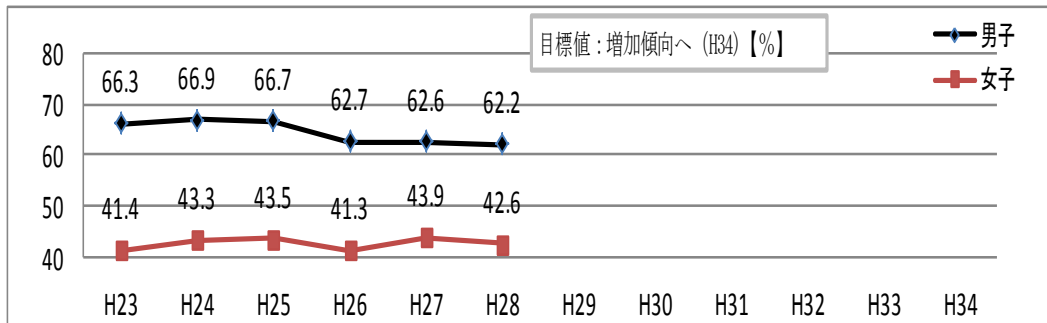
- ・ 地域の子育て支援を地域で考え実践するしくみを作り、地域の子育て支援活動を支援するため、各校区で住民や子育て支援に係る関係機関と協働して、子育て支援ネットワーク活動を実施している。【各区保健子ども課】

<平成 29 年度の新たな取り組み>

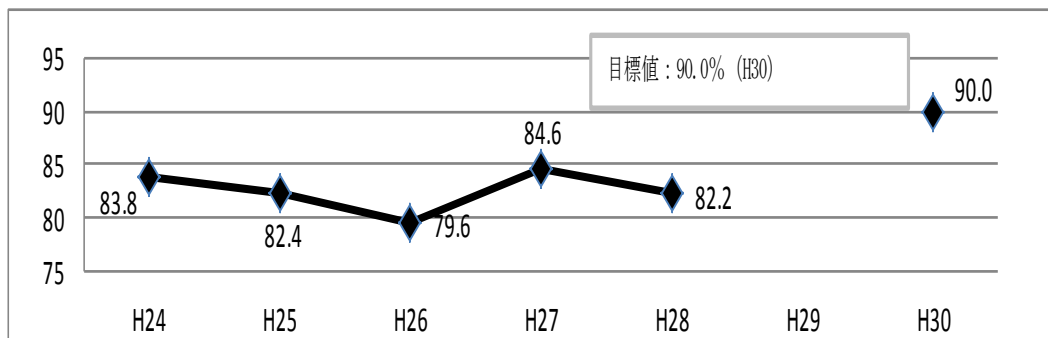
- ・ 子育てに不安を持つ就学までの家庭に訪問して支援する「家庭訪問型子育て支援事業」を南区まちづくり予算活用して実施 (家庭訪問支援員養成研修及び訪問活動)【南区保健子ども課】
- ・ ネットワーク活動活性化を目的に、子育て支援ネットワーク活動事例集の作成を予定。
- ・ 子育て世代の保護者との協働による子育て支援の仕組みを検討していくため、先進地 (岡山市) を視察予定 (H29 年 9 月)【東区保健子ども課】
- ・ 各区役所の子育て支援ネットワーク連絡会議の活性化を図る【健康づくり推進課】
- ・

17. 運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加

(週に3日以上運動習慣のある小学5年生)



19. 子育てが楽しいと感じる市民の割合



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上>

③ 働き盛り世代の健康 (P20~21)

【関係機関・団体】

- ・ 加入事業所の健康経営評価基準「協会けんぽヘルスター認定制度」を創設し、事業所が従業員の健康づくりに取り組む仕組みを構築し、健康宣言事業を開始。【協会けんぽ】
- ・ 熊本大学政策創造研究教育センター河村准教授グループ開発の健康支援ツール「ロボリーマン」を使った検診受診勧奨・重症化予防のポスターを作成し、検診機関及び事業所に配布。【協会けんぽ】

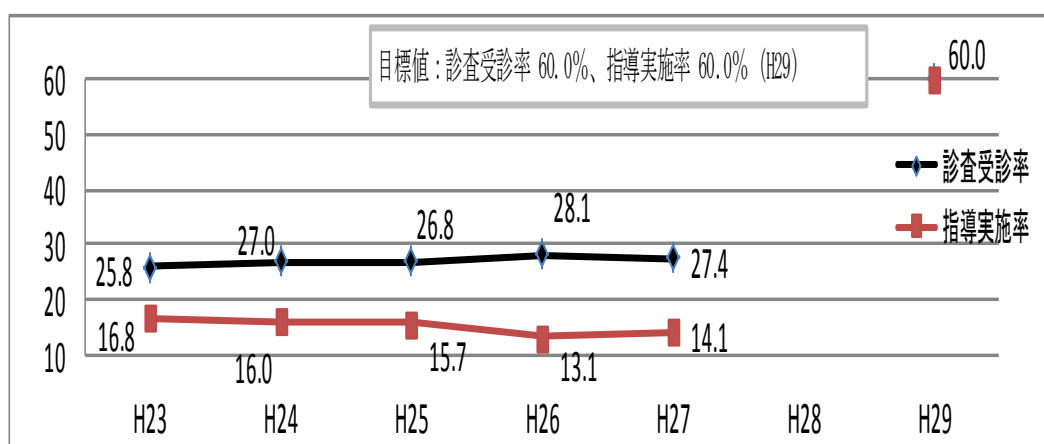
【行政】

- ・ 働き盛り世代 40 代・50 代のそれぞれに勧奨内容を変えて、ハガキによる受診勧奨を実施【国保年金課】

<平成 29 年度の新たな取り組み>

- ・ 経済三団体（熊本県商工会連合会・熊本県商工会議所連合会・熊本県中小企業団体中央会）と協定を結び、事業所自ら健康経営を実践する仕組みであるヘルスター健康宣言事業を本格開始。【協会けんぽ】
- ・ 働き盛り世代への勧奨を圧着ハガキに変更し、情報量を増やし分かりやすい内容に変更した。【国保年金課】

7. 特定健康診査の受診率・特定保健指導実施率の向上



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上>

④ 高齢者の健康 (P22~23)

【関係機関・団体】

- ・ 取り組み施策1「元気高齢者の増加」を目指し、高齢者の健康づくりに関する食や運動（ロコモティブシンドローム予防）、口腔保健などの情報提供等を行い、高齢者の健康増進に取り組まれている【地域包括支援センター連絡協議会・各区役所健康まちづくりを推進する団体等】
- ・ 認知症高齢者支援として、よく噛むことは脳血流を増加し、認知症の予防につながるため、定期的な受診を促し、往診体制の整備を進める【市歯科医師会】

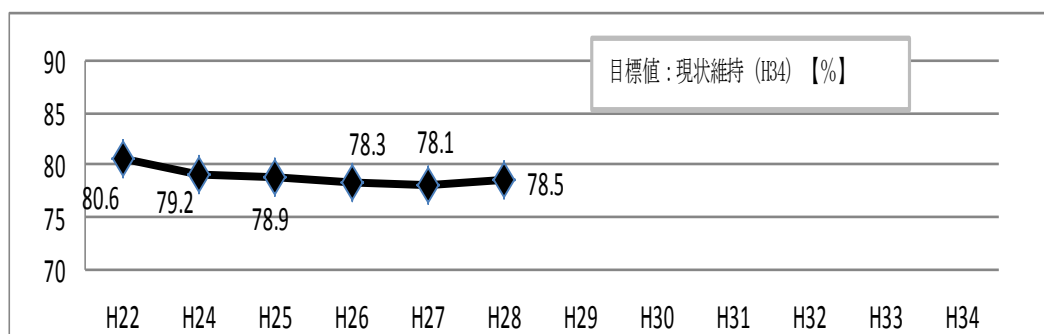
【行政】

- ・ 高齢者健康サロンやその他老人会、地域の会議等で栄養指導や運動（ロコモ予防）、口腔機能維持等についての健康教育を実施。地域における介護予防としてロコモティブシンドロームに関する啓発【各区保健子ども課】
- ・ 元気サロン開始前後に体力測定や組成計測を行い、参加者の運動機能向上の評価を実施した【中央区保健子ども課】
- ・ 認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を見守る「認知症サポーター」を養成するための講座を実施。【高齢介護福祉課】

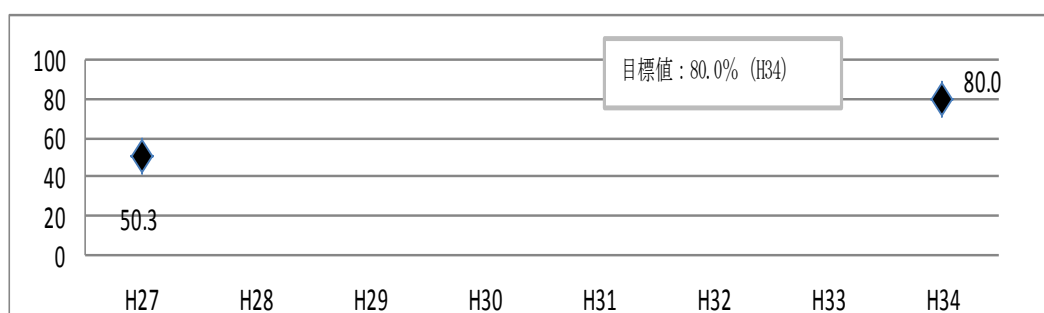
<平成 29 年度の新たな取り組み>

- ・ いきいき百歳体操を拡大していく。【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・ 制度改正に伴い、二次予防事業は平成 28 年度で廃止、一般介護予防事業「くまもと元気くらぶ」（地域包括ケアシステム）の推進【高齢介護福祉課】

20. 65歳以上の元気な高齢者の割合



22. ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している市民の割合の増加



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

① 栄養・食生活 (P24~25)

【関係機関・団体】

- 生活習慣病予防を目的とした献立について、小学校区ごとに調理実習を通じて普及・啓発を行う「すこやか食生活改善講習会(熊本市委託事業)」を実施した【食生活改善推進委員協議会】
- 「給食メニュー」・「食育活動(例:園内外における野菜栽培や芋ほり等)」等を通して、食育の意義を保護者へ通知すると共に、子どもたちが食育活動(例:育てた食材を調理等)及び給食・弁当を通して、食の楽しさ・安全・興味・栄養・感謝等を自然と学べる空間を提供する。【私立幼稚園・認定こども園協会】

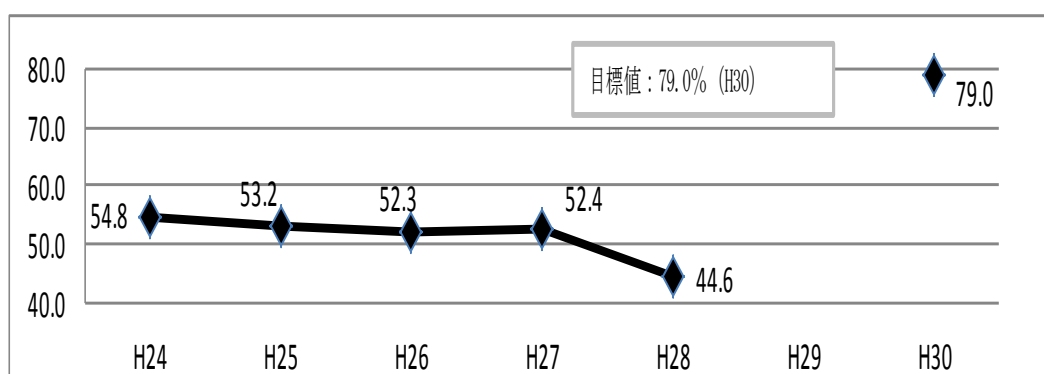
【行政】

- 市民が身近なところでの食育を実践しやすい環境整備のために、食事バランスガイドや栄養成分表示等を実践する「健康づくりできます店」の推進【健康づくり推進課】

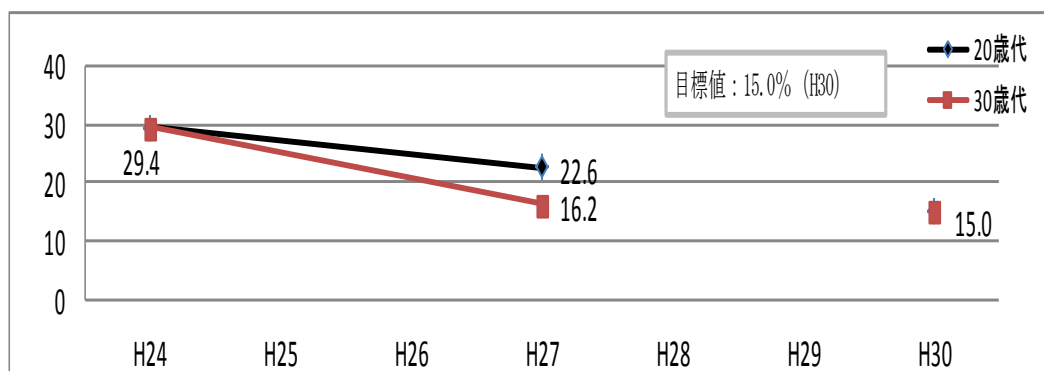
<平成 29 年度の新たな取り組み>

- 市民にホームページを活用頂くために、QRコード付きPRチラシを作成した。出産した親子には全て届くよう、赤ちゃん訪問での全世帯配布や、地域の様々なイベントで配布する。【健康づくり推進課】

25. 健全な食生活が実践できる市民の割合



27. 20、30代男性の1週間あたりの朝食の欠食率の減少



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

② 身体活動・運動 (P26~28)

【関係機関・団体】

- ・ 生活習慣病予防や健康増進のため、ウォークラリー等で、市民の運動習慣の定着を図る。【関係機関・団体など】
- ・ 熊本城マラソンや熊本市民スポーツフェスタ等へ協力【市スポーツ推進委員協議会】

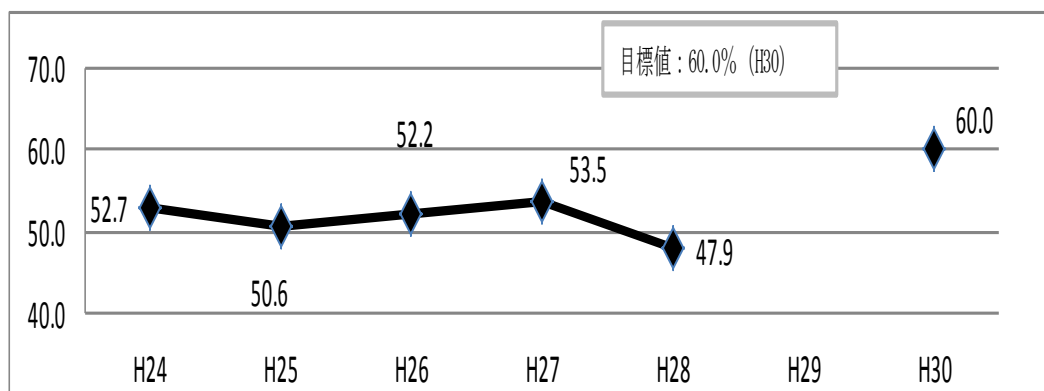
【行政】

- ・ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援のため、学校体育施設の年間優先確保や、総合型会員等との交流会や育成フォーラム等を実施した。【スポーツ振興課】
- ・ 学校体育施設の夜間開放、子どもから高齢者まで市民が気軽に利用できるスポーツの場として、学校教育に支障のない範囲で学校施設を開放した。【スポーツ振興課】

<平成 29 年度の新たな取り組み>

- ・ 健康まちづくり推進員（現 50 名）の活動活性化を推進した。【東区健康まちづくりを推進する団体等】
- ・ 熊本市民スポーツフェスタの実施・検討。子どもから高齢者までスポーツに親しめる大会として、春季に校区対抗競技 8 種目、夏季にウォータービーチバレー他 5 種目、秋季に体操教室他 6 種目、冬季にスケート教室他 4 種目を予定。また、フェスタの参加者を増やすことが、スポーツの習慣化につながることから、今年度、実行委員会にて開催形態の検討を行う予定。【スポーツ振興課】
- ・ （仮称）御領 3 丁目公園の新規公園整備において、地域住民の方とのワークショップを開催し、健康増進に取り組みやすい環境づくりに取り組む予定【公園課】

29.1回30分以上の運動（ウォーキング等）を週1回程度以上している市民の割合



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

③ 休養 (P29)

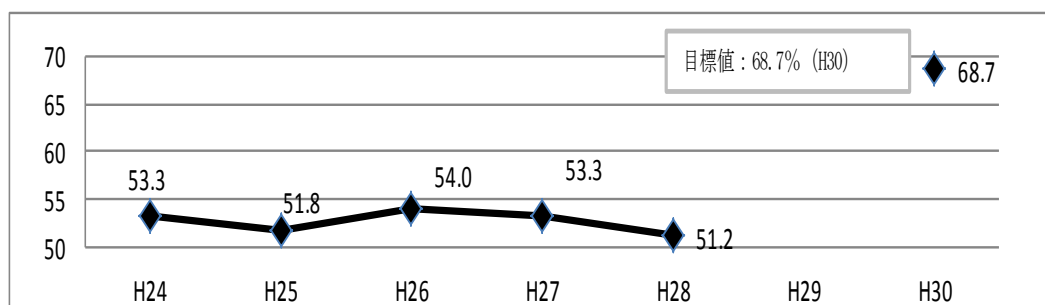
【関係機関・団体】

- 「睡眠の重要性」を様々な機会を通して、保護者へ団体を通して啓発する。また、子どもたちに「睡眠の大切さ」について、日々の教育・保育（例：絵本や紙芝居等）の中で、自然と学べる空間を提供する。【私立幼稚園・認定こども園協会】

【行政】

- 熊本地震被災者向け配布資料「被災された皆様へ」改訂版に、休息のすすめや呼吸法を追加し配布。保護観察所事業、ふれあい出前講座等において、ストレス対処法について講話を実施した。【こころの健康センター】

13. 睡眠を十分にとっている市民の割合



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

④ 飲酒 (P30～31)

【関係機関・団体】

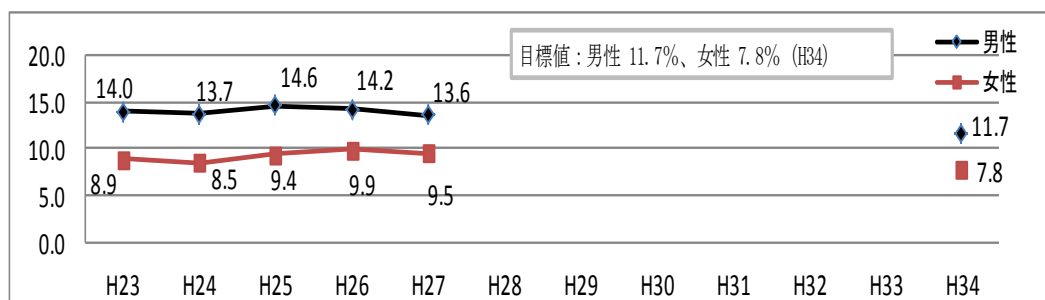
- 保健指導実施時に当センターで作成した減酒支援媒体とAUDITを用いて減酒支援を行っている。【日赤健康管理センター】

【行政】

- 健康まつり等区内で実施する各種イベントにて、アルコールパッチテストやアルコール関連の啓発を実施した。【各区保健子ども課】

30. 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者

(男性は清酒換算2合以上、女性は清酒換算1合以上の者)の割合の減少



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

⑤ 喫煙 (P32~33)

【関係機関・団体】

- 受動喫煙防止のため、中小企業事業主が喫煙室を設置する場合は、上限200万円で費用の1/2を助成する制度があることを周知広報した。平成27年6月1日より受動喫煙防止対策が努力義務となったことを踏まえ、事業場における受動喫煙防止対策に係る取組を積極的に推進するため、改正法及び施行通知等の周知を図っている。【労働基準監督署】
- 妊娠中の喫煙と早産の関係や、出産後の子供の受動喫煙の害に対する啓蒙を行い、禁煙指導を行った。【市歯科医師会】

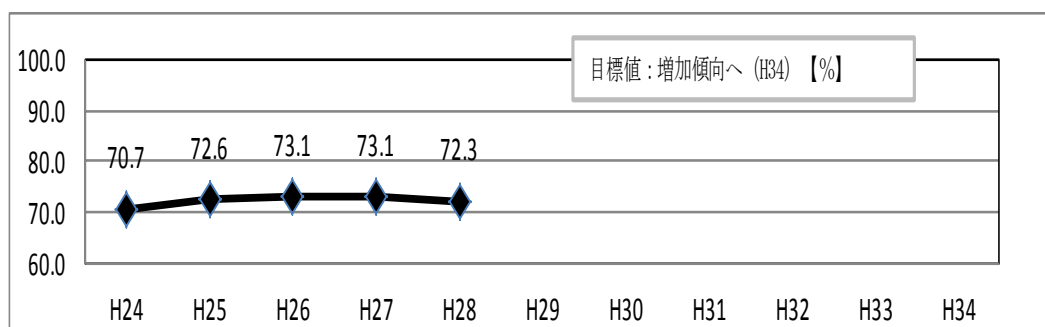
【行政】

- 幼児健診等の場を活用し、幼児へのタバコの影響について啓発を実施。家庭での禁煙・分煙の啓発を行った。親子(母子)健康手帳交付時および育児教室開催時に妊婦や乳幼児へのタバコの影響について啓発及びマタニティマークを交付した【各区保健子ども課】

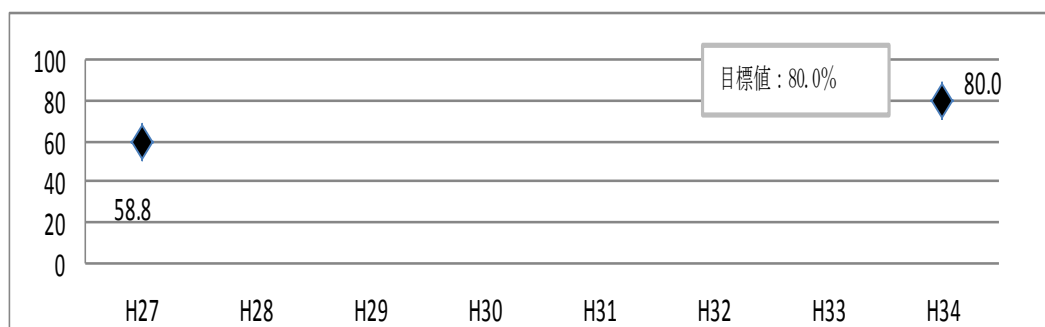
<平成29年度の新たな取り組み>

- 親子(母子)健康手帳交付時、妊婦やその家族に喫煙者がいる場合などに禁煙手帳を配布した。また、禁煙手帳の保険者協議会加入団体へ配布した。世界禁煙デーや禁煙に関するポスターを掲示し、パネル展示した。熊本県内で行われる国際スポーツイベント等での受動喫煙防止の啓発をした【健康づくり推進課】

33. 「たばこを吸わない」と答える市民の数を増やす



34. COPDの認知度の向上



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

⑥ 歯・口腔の健康 (P34~36)

【関係機関・団体】

- ・ 歯っぴー39 (サキュー)チャレンジの推進とフッ化物洗口事業の拡大。【市歯科医師会】
- ・ 各園で「歯科検診」を実施し、子どもの現状を保護者へ通知し、今後の治療を含め歯の大切さについて保護者へ啓発した【私立幼稚園・認定こども園協会】
- ・ 6月の園長会にてポスター配布し、現状の説明とむし歯予防の啓発活動を実施した。連盟主催の看護師研修にて予防啓発した。【市保育園連盟】
- ・ 小学校でのフッ化物洗口への協力。子育てサークルでお口の健康の講話や染め出しの協力。保・幼・子育てサークル等や地域行事でのフッ化物洗口事業の啓発協力をした。【8020健康づくりの会】
- ・ 熊本県歯科医師会と連携し、事業所における歯援プログラム「質問票及びペリオスクリーンの実施による歯科指導及び歯科医への受診勧奨」を実施した【協会けんぽ】

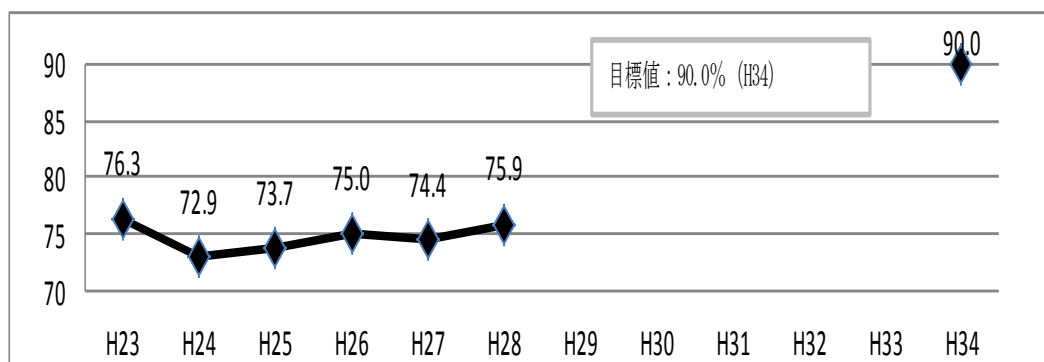
【行政】

- ・ 歯っぴー39チャレンジの推進。市役所、区役所、コンビニエンスストア、薬剤師会会員の薬局等において無料歯科健診券付き予防啓発カード「Happy life」を配布し、歯科疾患の予防に取り組む。保育園・幼稚園・認定こども園におけるフッ化物洗口の取り組みを実施。小中学校におけるフッ化物洗口事業の実施校拡大の推進【健康づくり推進課・各区保健子ども課】

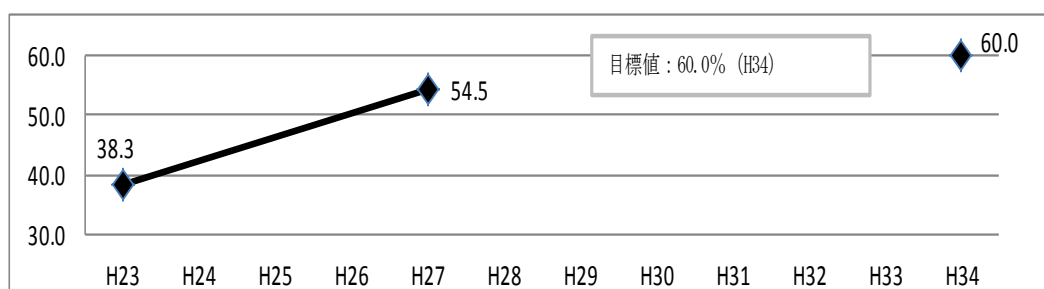
<平成 29 年度の新たな取り組み>

- ・ 歯っぴー39 (サキュー)チャレンジの推進【健康づくり推進課】

38.3歳児でむし歯のない者の増加



42.80歳で20歯以上の自分の歯を有する者 (8020達成) の増加



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<健康を支え守るための社会環境の整備>

① 小学校区単位の健康まちづくり (P37~39)

【関係機関・団体】

- ・ 校区の健康まちづくり部会、自治協議会、社協、民協、子ども会、体協、まちづくり委員会、小中学校PTA、老人クラブ連合会、西区けんこう大使、ささえりあ、地域リハビリテーション広域支援センター、西区役所と多様なメンバーで取り組んでいる。医療講演会で校区の健康課題である「メタボリックシンドロームや糖尿病等」について健診勧奨を含め、地域住民に周知啓発を行い、講師医師の協力により簡易血糖チェックを行った。【西区健康まちづくりを推進する団体等】

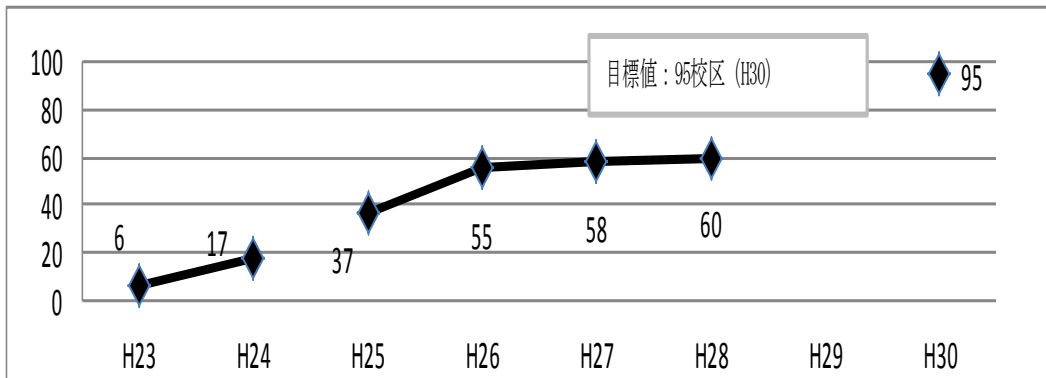
【行政】

- ・ 保健子ども課職員を対象にしたソーシャルキャピタル（社会や組織における人と人との“つながり”の蓄積）についての研修会を開催した。【健康づくり推進課】

<平成 29 年度の新たな取り組み>

- ・ 自治協議会をはじめ社会福祉協議会、保育園、小中学校とその保護者会等の団体が構成するまちづくり委員会があり、各種団体が情報交換を行いながら健康づくりに関する検討を行っている。【北区健康まちづくりを推進する団体等】
- ・ まちづくりセンター職員との校区情報の共有・連携を図り、校区ごとの事業を推進する。まちづくりセンターとの連携による区役所としての「まちづくり」と「健康づくり」の新しい「しくみ」の構築。【各区保健子ども課】

43. 市民と協働で健康をテーマとしたまちづくりを実施する校区の増加



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<健康を支え守るための社会環境の整備>

② 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援 (P40~41)

【関係機関・団体】

- 健康づくり支援者研修会、健康づくりボランティアの育成をしている。【地域包括支援センター連絡協議会】

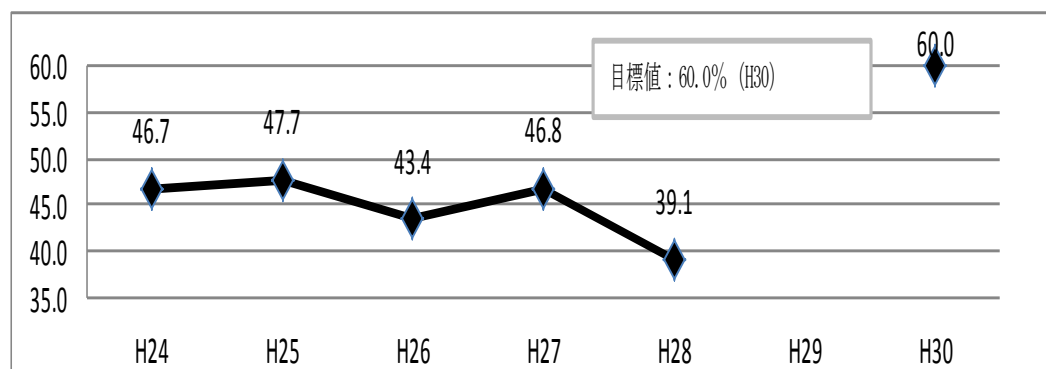
【行政】

- 健康をつくるボランティア医師・歯科医師の会「とんぼの会」の発足、活動支援。健康まちづくり推進員協議会の運営・活動支援【東区保健子ども課】
- 「健康さるく熊本西（医療機関の医師等、専門学校健康教育に関わる専門家、民間企業等で構成）」が、校区単位の健康まちづくりを支えるボランティア団体として活動することを支援する。【西区保健子ども課】
- 食生活改善推進員活動の支援を実施、8020推進員活動の支援を実施【健康づくり推進課・各区保健子ども課】
- 介護予防サポーターのフォローアップ研修を実施。【高齢介護福祉課】
- 精神保健福祉ボランティア養成講座修了生のつどいを実施【こころの健康センター】

<平成 29 年度の新たな取り組み>

- ボランティア養成を保健師、関係機関、地域住民等と一緒に継続していく。【地域包括支援センター連絡協議会】
- 健康まちづくり推進員協議会が主体的に活動を展開していけるよう、先進地視察を行い、情報を共有する。また、熊本市の健康課題である糖尿病をはじめとする若い世代からの生活習慣病予防をテーマとして啓発活動を実施する。【東区保健子ども課】

45. 過去1年間に地域活動に参加した市民の割合（参加したことがある）



※()内のページ数は資料 1-2 進捗管理表参照

<健康を支え守るための社会環境の整備>

③ 企業・大学等の健康づくり活動の促進 (P42~43)

【関係機関・団体】

- ・ 事業場の産業保健スタッフ等を対象に、メンタルヘルスを含む健康管理対策の研修会を実施した。【熊本産業保健総合支援センター】
- ・ 労働安全衛生法に定める衛生委員会の付議事項に関して「健康の保持増進」の項目があり、各事業場における実施状況を確認している。【労働基準監督署】

【行政】

- ・ がん対策の推進に取り組む企業・団体等の拡充。がん対策を推進する企業・団体との協定締結に向け公募を実施。がん対策を推進する企業とがん対策企業等連携協定締結。健康づくりできます店の推進【健康づくり推進課】

46. 健康づくりできます店の登録数の増加

